Hitachi Koki

POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

用途

- 一般の草刈り、雑草刈り
- 果樹園の下草刈り
- 牧草刈り、稲、麦刈り

陸内協排出ガス自主規制
適合エンジン搭載

日立 エンジン刈払機

［4 サイクルエンジン］

CG 25EUS（A）
CG 25EUS

このたびは日立エンジン刈払機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

CG 25EUS（A）

HITACHI

警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、ご使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。
これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。

取扱説明書を良く読んで内容を十分理解し、誤った使用で不慮の事故を起こさないように注意してください。

取扱説明書または本機に表示の危険、警告、注意などに従って安全に使用してください。

引火しやすい燃料を使用するため、本機に火気を絶対に近づけないでください。

無鉛ガソリン(自動車用レギュラーガソリン)を入れてください。

自動車用4サイクルエンジンオイルを入れてください。

本機に火気を近づけないでください。

本機の近くでたばこを吸わないでください。

保護帽(ヘルメット)、保護メガネ、手袋、安全靴など保護具を着用してください。

切削物の飛散方向に注意してください。

キックバックに注意してください。

運搬時、保管時は刈刃カバーを取付けてください。

飛散防護カバーは、必ず取付けて使用してください。

回転中の刈刃には、絶対に触れないでください。

排気ガスは人体に有害ですので直接吸わないでください。

マフラーやその周囲は、高温になりますので絶対に触れないでください。

刈払機の作業者から15 m以内を危険区域とし、この中に作業者以外の人が入らないようにしてください。また、数台同時に作業するときもこの距離は守ってください。

⚠危険、⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **危険**」、「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠危険 **:誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負う事が想定される内容のご注意。**

⚠警告 **:誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 **:誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 **:製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

エンジン工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 危険

火気に注意してください。

- 燃料の補給はエンジンを停止後、機体が冷えてから補給してください。
- たばこを吸ったり、火気を近づけないでください。
- 燃料がこぼれたら、よくふき取ってください。
- 運転中は燃料タンクのキャップをはずさないでください。
- 燃料、可燃性ガス、その他の可燃物のある場所では使用しないでください。
- 乾燥地帯で使用する場合は、消火用具を準備してください。
  爆発や火災、やけどの原因になります。

⚠ 警告

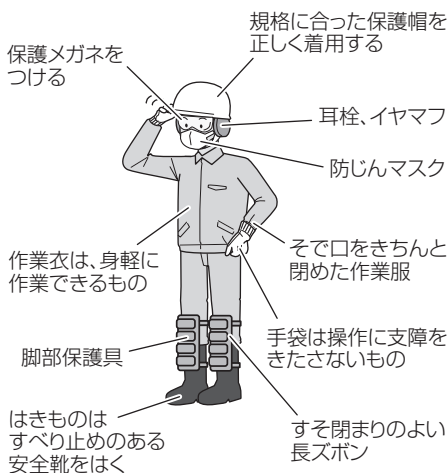
① 指定された用途以外に使用しないでください。

- けがの原因になります。

② 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- 保護具をつけないで作業すると、飛散物が身体に当たるなどけがの原因になります。

③ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているとき、身体の調子が悪いときは、使用しないでください。
- 視覚や敏しょう性、判断力に影響するような酒類、薬物を飲んでいる人は使用しないでください。

⚠警告

④ **作業はゆとりを持って行ってください。また、身体を冷やさないようにしてください。**

⑤ **作業者以外、特に子供は近づけないでください。**

- エンジン工具に触れさせないでください。
- 作業場へ近づけないでください。

⑥ **子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れな人にはエンジン工具を使用させたり、貸さないでください。**

- 初めて使用する方は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

⑦ **本製品は、運転中に電磁波が発生します。この電磁波はペースメーカーなど電子医療機器の動作に影響することがあります。**
ペースメーカーなど電子医療機器を装着している方は、本製品を使用する前に医療機器の製造元に使用の可否を相談してください。

⑧ **作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。**

⑨ **夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨の中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。**

- 足もとが不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント、先端工具（刃具など）以外のものは、事故やけがの原因になるので、使用しないでください。

⑪ **始動前に先端工具（刃具など）を点検してください。**

- 先端工具（刃具など）にひび割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
- 先端工具（刃具など）が確実に取付けられているか確認してください。先端工具（刃具など）が割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。

⑫ **始動前に各部を点検してください。**

- 機体やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、グリース、燃料漏れ、電気配線のいたみ、その他、運転に影響するすべての箇所に異常がないか確認してください。
  異常がある場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

⑬ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**

- エンジンを始動する前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⚠警告

⑭ エンジンを始動する場合は注意してください。

- 機体を平らな場所においてください。
- 15 m以内に人や動物を近づけないでください。
- スロットルレバーがアイドリングの位置にあることを確認してください。
- 周囲にかれ草、紙くず、燃料などの可燃物のある場所で行わないでください。
- 燃料を補給した場所から 3 m以上はなれた場所で行ってください。
  不用意な始動は、けがや火災の原因になります。

⑮ ストップスイッチを停止の位置にしたときエンジンが確実に止まることを確認してください。

⑯ スターターハンドルを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合があるので注意してください。

⑰ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足もとをしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- 足もとの不安定な場所では使用しないでください。
  転倒するなど、思わぬ事故の原因になります。

⑱ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。

⑲ 回転速度を必要以上に上げないでください。

- 回転を上げる場合は急に上げずに、徐々に回転を上げてください。
- 作業の負荷に応じてスロットルレバーを調整しながら使ってください。
  飛散物が飛び散るなど、思わぬ事故の原因になります。

⑳ 次の場合はエンジンを停止し、先端工具（刃具など）の動きが止まるのを確認してください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 作業場所を移動する場合。
- 先端工具（刃具など）、アタッチメント、その他機体の点検、調整、交換などを行う場合。
- 機体に巻き付いたごみや草を取除く場合。
- 作業場所の障害物を取除いたり、作業で発生したごみ、草、切り粉などを運ぶ場合。
- 機体を身体からはずす場合、機体からはなれる場合。
- その他、危険を感じた場合、危険が予想される場合。
  エンジンや先端工具（刃具など）が動いたままでは、思わぬ事故が起こります。

㉑ 他の人を 15 m以内に近づけないでください。
また、二人以上で作業する場合も、 15 m以上はなれてください。

- 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
- 他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
- 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。

⚠警告

㉒ 排気ガスに注意してください。

- 屋内や換気の悪い場所で始動したり、作業しないでください。
- 建物、その他の設備に排気ガスが入らないように注意してください。
  ガス中毒や窒息の原因になります。

㉓ 作業中は点火プラグキャップ部、高圧コードに触れないでください。

- 電気ショックを受ける可能性があります。

㉔ 作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくはエンジン本体、マフラー、特に排気口などに触れないでください。

- けがややけどの原因になります。

㉕ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにエンジンを止めて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

- そのまま使用すると、故障やけがの原因になります。

㉖ 誤って機体を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- 破損や亀裂、変形があるとけがや火災の原因になります。

㉗ 機体を車で運搬する場合は、燃料タンクから燃料を完全に抜き取ってください。また、機体が動かないように固定してください。

- 火災や事故の原因になります。

⚠注意

① **使用後に機体を運搬したり、保管する場合は、先端工具（刃具など）をはずすか、先端工具にカバーをかぶせてください。**
- 先端工具（刃具など）が身体に触れて、けがの原因になります。

② **機体は注意深く手入れしてください。**
- 安全に効率よく作業していただくために、先端工具（刃具など）は常に手入れし、刃具類はよく切れる状態にしてください。
- 付属品やアタッチメントの交換、機体の手入れ、注油などは取扱説明書に従ってください。

③ **修理は専門店に依頼してください。**
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

④ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- ストップスイッチは停止の位置にして保管してください。
- 燃料を抜き取り、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかるところに保管してください。

⑤ **燃料はガソリン専用の容器に入れ、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかるところに保管してください。**

⑥ **警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取換えてください。**
- 警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。

⑦ **作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。**

本製品の使用上のご注意

先にエンジン工具として共通の注意事項を述べましたが、エンジン刈払機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 刈刃や飛散防護カバーが、確実に取付けられているか、損傷や変形などの異常がないか確認してから使用してください。

- 異常があるまま使用すると、けがの原因になります。損傷や変形がある場合は、新品と交換してください。

② ナットは刈刃が完全に固定されるまで、しっかりと締付けてください。また、刈刃を締付け後、手で回してガタつきがないこと、楕円に回転しないことを確認してください。

- 異常振動による機体破損や刈刃脱落によるけがの原因になります。

③ ナットカバーに損傷や摩耗などの異常がないか確認してから使用してください。

- 異常がある場合は、新品と交換してください。

④ 飛散防護カバー、肩掛けバンドは必ず取付けて作業してください。

- 取りはずして作業すると、けがの原因になります。

⑤ 回転中の刈刃には、絶対に触れないでください。

- 髪の毛や衣服なども触れないように注意してください。

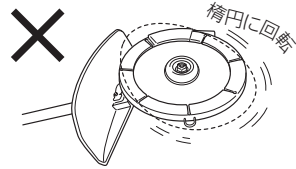
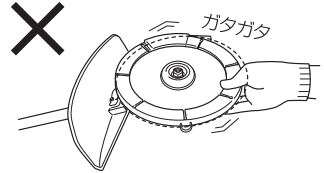
⑥ 先端工具は、最高回転数7,800min^{-1}以上の指定の先端工具を正しく取付けて使用してください。

- 指定以外の先端工具を使用すると、先端工具が破壊し、けがの原因になります。

⑦ 空き缶、針金、石などの有無を確認し、ある場合は取除いてから作業してください。また、木の根や岩のあるところでの作業はしないでください。

- 刈刃の損傷や、けがの原因になります。

⑧ 刈刃部に草などが巻き付いたときは、すぐにエンジンを停止し、刈刃の回転が停止してから取除いてください。

- エンジンがかかったままであったり、刈刃が停止していない状態で取除こうとすると、けがの原因になります。
- 草などが巻き付いた状態で無理に作業を続けると、故障の原因になります。

⚠警告

⑨ **ハンドルは必ず取付けて作業してください。また、がたつきがなく確実に取付けられていることを確認してください。作業中は、ハンドルをしっかり握り、必要以上に振り回したりせず正しい姿勢でバランスを取ってください。**

- 作業中にバランスを失いけがをする恐れがあります。

⚠注意

① **本機は 4 サイクルエンジンです。無鉛ガソリン（自動車用レギュラーガソリン）を使用してください。**

② **エンジンに必ずエンジンオイルを入れてください。**

- エンジンオイル量は、容量を守ってください。
- 減っているときは補給してください。

③ **刈払い作業以外に刈刃を動かしたり、刈刃が水たまりなどの水に触れるような作業、土に刈刃が入り込むような作業はしないでください。**

- けがや故障の原因になります。

④ **振動が多い低速域での連続使用はしないでください。**

- エンジンが故障する原因になります。

⑤ **1日の作業時間(注)は 2 時間以内にしてください。また、長時間の連続使用を避け、 30 分作業したら 5 分以上休憩してください。**

- 疲労は事故の最大の原因です。作業はゆとりを持って行ってください。
- 国有林では、作業者の健康管理のため次のような指導をしております。

1 回の連続使用	30 分以内
連続使用日数	3 日以内

1 週の使用日数	5 日以内
1 ヶ月の使用時間	40 時間以内

（注） 1日の作業時間は『仕様』に記載されている「振動 3 軸合成値」から、
厚生労働省の通達で次のように決められています。

① 10 ㎧^{2}より小さい場合： 2 時間以内
② 10 ㎧^{2}より大きい場合：次の式により算出した時間以内

$T = 200 \div (a \times a)$　　T ： 1 日の最大作業時間（時間）
　　　　　　　　　　　　　　a ：振動 3 軸合成値（㎧^{2}）

注 **作業は汚れてもいい服装で作業してください。**
草の飛散や刈払機との接触、排気ガス等で衣服を汚す場合があります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称

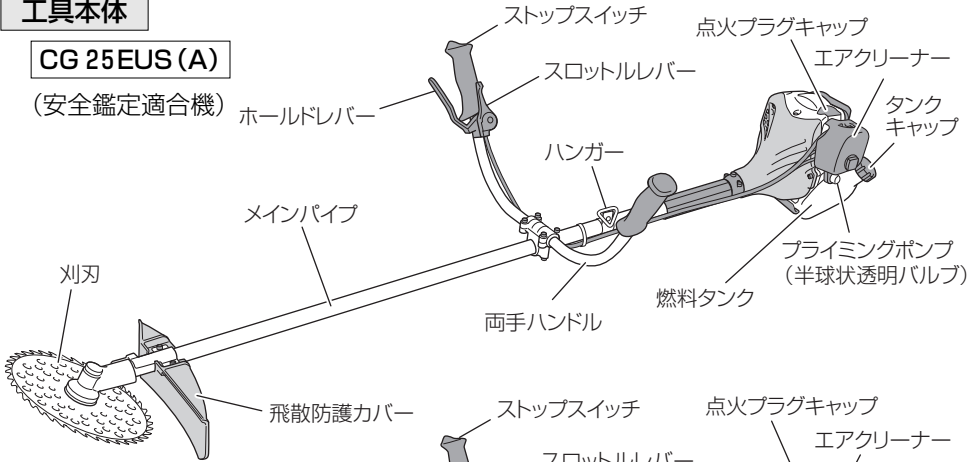
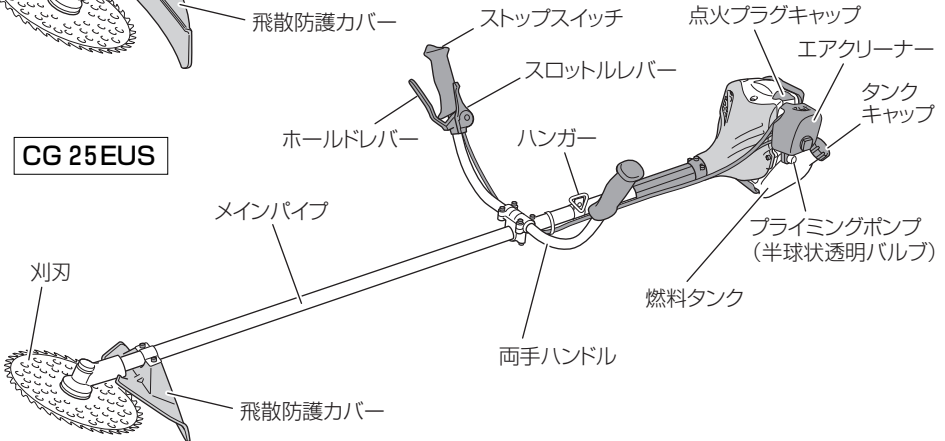
工具本体

CG 25EUS（A）

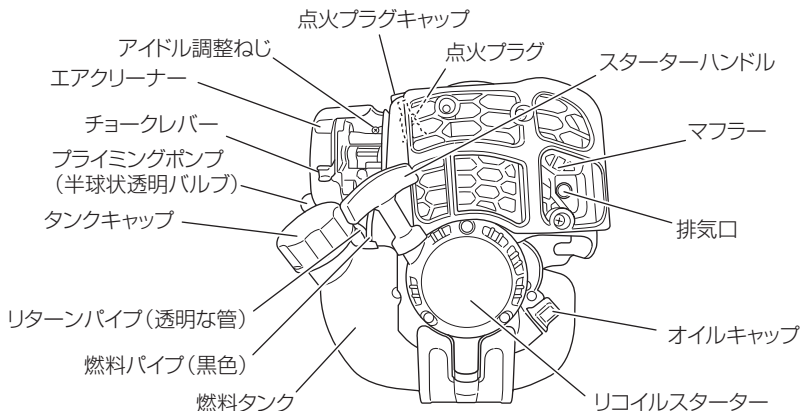
（安全鑑定適合機）

ストップスイッチ
点火プラグキャップ
スロットルレバー
エアクリーナー
ホールドレバー
タンクキャップ
ハンガー
メインパイプ
プライミングポンプ（半球状透明バルブ）
刈刃
燃料タンク
両手ハンドル
飛散防護カバー

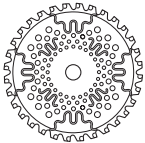
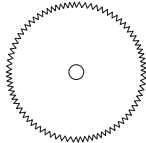
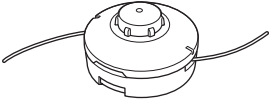
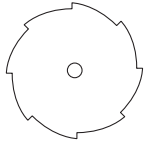
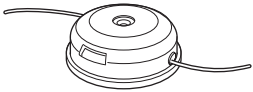
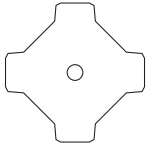
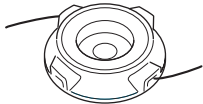
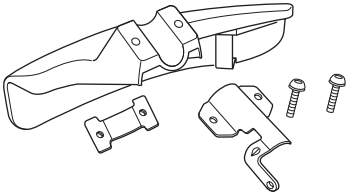
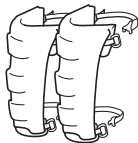
CG 25EUS

ストップスイッチ
点火プラグキャップ
エアクリーナー
スロットルレバー
タンクキャップ
ホールドレバー
ハンガー
メインパイプ
プライミングポンプ（半球状透明バルブ）
刈刃
燃料タンク
両手ハンドル
飛散防護カバー

エンジン部詳細

【イラストはCG 25EUS（A）です】

仕　様

項目＼形名		CG 25EUS(A)	CG 25EUS
安全鑑定型式名		日立工機 CG 25EUS A	－
エンジン	型式	強制空冷 4 サイクル OHVガソリンエンジン	
	排気量	25.0 mL	
	エンジン最高回転数	11,500 min^{-1}	
	気化器	ダイヤフラム型（プライミングポンプ付）	
	点火プラグ	NGK CMR5H	
	使用燃料	無鉛ガソリン（自動車用レギュラーガソリン）	
	燃料タンク容量	0.55 L	
	使用エンジンオイル	API分類 SH級以上の SAE 10W－30 オイル（自動車用 4 サイクルエンジンオイル）	
	エンジンオイル容量	80mL	
駆動装置		遠心クラッチ、クラッチドラム、駆動軸、ピニオン、ギヤ	
先端工具最高回転数		7,800 min^{-1}	
チップソー		φ 230 mm × 36 P	
ハンドル		両手ハンドル	
寸法（全長×全幅×全高）		1790 × 610 × 380 mm	
質量		5.4 kg	
振動 3 軸合成値 ※1		3.9 m/s^2 ※2	

※１：振動 3 軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値）については、当社ウェブサイト　http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/vibration/index.html を参照ください。

※２：振動 3 軸合成値は、ISO 22867 : 2004 規格に基づき測定しています。

標準付属品

下記の部品が標準付属品として同梱されていますので確認してください。

品名	数量	品名	数量
チップソー （外径 230 ㎜） （安全鑑定適合品） （コードNo. 0069－8824 ）	1 枚	**保護メガネ**	1 個
刈刃カバー	1 セット	**肩掛けバンド** CG25EUS(A)　CG25EUS	1 個
六角棒スパナ	1 個	**コード押さえ**	1 本
飛散防護カバー CG25EUS(A)　CG25EUS	1 セット	**ボックススパナ** （ 17 ㎜× 16 ㎜）	1 個
ロックピン	1 個		

別売部品の紹介

販売店でお求めください。
（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

各種チップソー 外径 230 ㎜ ※仕様については、カタログを参照になるか、販売店にご相談ください。	**丸のこ刃** 外径 230 ㎜× 80 枚
ナイロンコードカッタ （打撃タイプ）	**巴刃** 外径 230 ㎜× 8 枚
ナイロンコードカッタ （オートタイプ）	**角形 4 枚刃** 外径 230 ㎜× 4 枚
ナイロンコードカッタ （手動タイプ）	**燃料混合器** （ 0.6 L）
ナイロンコードカッタ専用飛散防護カバー	**グリース** （チューブ入り 100 g） 使用 50 時間に1度程度ギヤケースに補充します。
	すね当て （ 1 組 2 個入り） 飛散物から足を守ります。

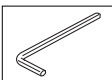
ご使用前の準備

本製品をお買い求め後、初めてご使用になるとき、分解して保管していたとき、刈刃を交換するときは、次のように組み立ててください。

●両手ハンドルの取付け

⚠ 警告

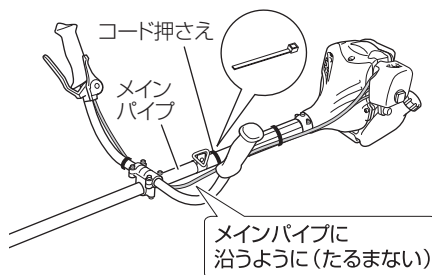
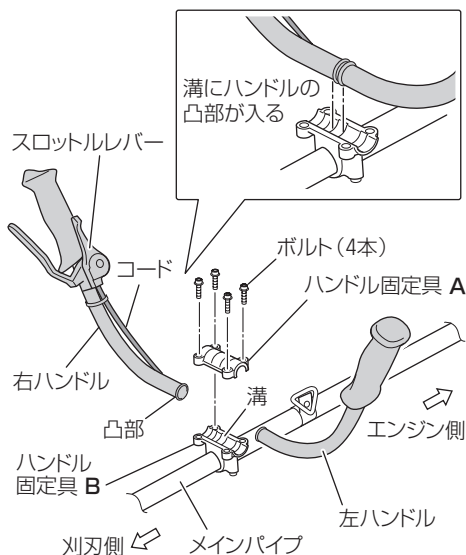
ハンドルは確実に取付けてください。
作業中にゆるむと、けがの原因になります。

注
- **ハンドル固定具Bの取付け位置を動かさないでください。**
- **取付けには付属の六角棒スパナを使用します。**

① 付属の六角棒スパナでボルトをはずし、ハンドル固定具Aをはずします。

② ハンドル固定具Bに、スロットルレバーの付いているハンドルが右手になるように左右のハンドルをのせます。

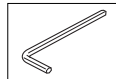
③ ハンドル固定具Bの溝にハンドルの凸部を合わせてからハンドル固定具Aを当て、ボルトで仮止めします。

④ ハンドルを使いやすい角度に調整し六角棒スパナでボルトを締め、確実に固定します。ボルトを締付けるときは、４本のボルトに均等に力が掛かるように少しずつ締付けます。

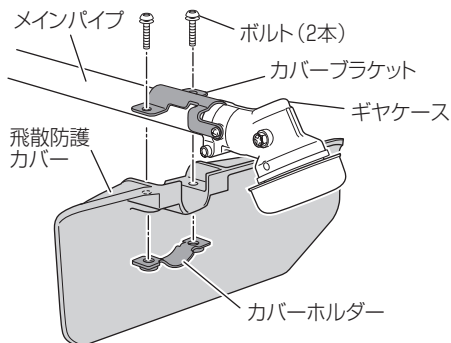
⑤ スロットルレバーからエンジン本体に伸びているコードは、作業中邪魔になったり、引っ掛けたりしないように付属のコード押さえで、図のように固定してください。

●飛散防護カバーの取付け

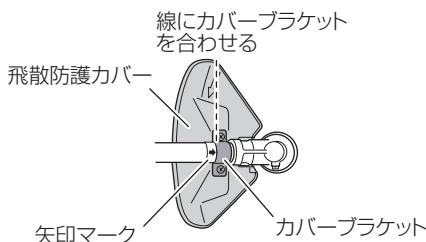
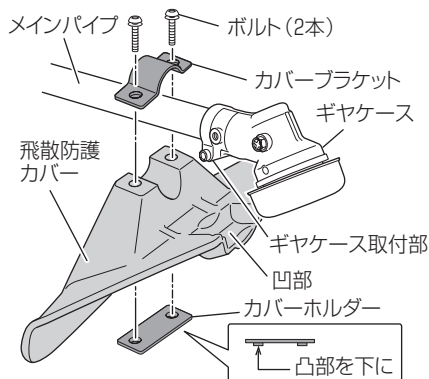
⚠警告

飛散防護カバーは必ず所定の位置に確実に取付けてください。
小石等が飛散した場合、けがの原因になります。

注 **取付けには付属の六角棒スパナを使用します。**

CG 25EUS（A）

（安全鑑定適合機）

カバーブラケットの位置に合わせ、ボルトとカバーホルダーで飛散防護カバーをメインパイプに確実に固定します。

CG 25EUS

ギヤケース取付部に飛散防護カバーの凹部が収まる位置でカバーブラケット、ボルトとカバーホルダーで飛散防護カバーをメインパイプに確実に固定します。

●肩掛けバンドの取付けと使い方

⚠警告

- **肩掛けバンドは必ず着用し、機体を正しく保持してください。**
- **危険を感じたときは直ちにエンジンを停止し、刈払機から離脱して身体をはなしてください。**

⚠注意

- **離脱時は他方の手で機体のメインパイプを持ちながら離脱してください。**
  機体を支えないで離脱すると機体が足の上に落ち危険です。
- **肩掛けバンド装着前に、肩掛けバンドに切れ・ほつれ・損傷等がないことを確認し、正しく使用してください。**
- **肩掛けバンド装着前に、フックやハンガーに変形・損傷がないことを確認してください。**
  損傷がある場合は、新品と交換してください。
- **肩掛けバンド装着後に機体を押し下げ、フックが容易にはずれたり、肩掛けバンドが緩んだりしないことを確認のうえ使用してください。**

CG 25EUS（A）

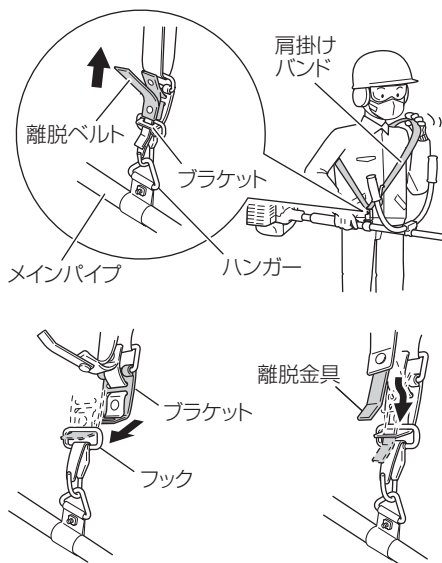
（安全鑑定適合機）

① 肩掛けバンドは右図のように肩に掛け、ハンガーに引っ掛けます。

② 肩掛けバンドは使いやすい長さに調節してください。

③ 肩掛けバンドから機体をはずすときは、片手でメインパイプを持ちながら、離脱ベルトを右図のように上に引き、ブラケットからはずします。

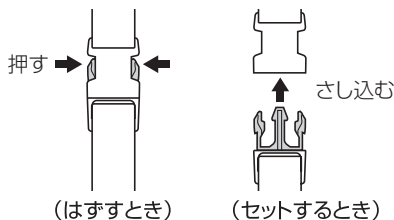
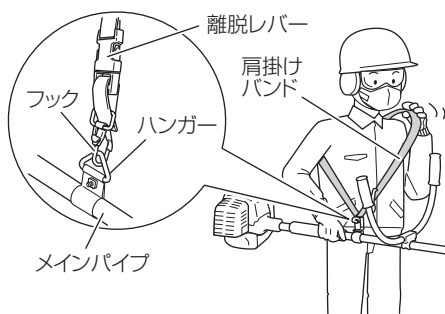
④ 結合するときは、フックにブラケットをさし込み、離脱金具をフックの上からブラケットの長穴にさし込みます。

⑤ 軽く肩掛けバンドを引いて、確実に取付けられていることを確認してください。

① 肩掛けバンドは右図のように肩に掛け、ハンガーに引っ掛けます。

② 肩掛けバンドは使いやすい長さに調節してください。

③ 肩掛けバンドから機体をはずすときは、片手でメインパイプを押さえ、肩掛けバンドの離脱レバーを下図のように両側から押すとはずれます。

④ 結合するときは、下から押し込んで、セットしてください。

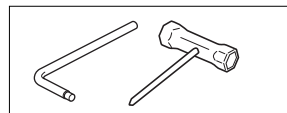
⑤ 軽く肩掛けバンドを引いて、確実に取付けられていることを確認してください。

●刈刃の取付け

⚠ 警告

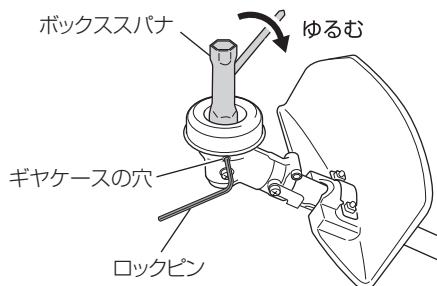
- **エンジンをかけたまま刈刃の取付け、取りはずしをしないでください。**
- **交換用刈刃および刈刃取付け金具類は、純正品をお使いください。**
- **刈刃交換は、必ず刃物取付け金具類（ナットカバー、刃押さえ金具、左M10 取付けナット）の表面についたゴミを十分に取りのぞいた後に行ってください。**
  汚れがついたまま取付けると、ナットがゆるむ原因となり、非常に危険です。
- **取付ける前に刈刃にひび割れ、変形などがないか、よく調べてから取付けてください。**
- **刈刃を取付ける際は、必ず刈刃の中心穴を刃受け金具の凸部に入れ、刃押え金具の凹面側で刈刃をはさむようにし、刈刃の中心がずれないように確実に締めてください。**
- **刈刃取付け後は忘れずにロックピン、ボックススパナをはずしてください。**
- **刈刃は直径 230 ㎜以下の刈刃を使用してください。直径 230 ㎜よりも大きな刈刃は使用しないでください。**
  本製品または刈刃の損傷および飛散により、事故や重大な人身事故を招く恐れがあります。
- **刈刃を締付け後、手回して振れや異音がないことを確認してください。**
  振れがあると異常振動や刈刃取付部ゆるみの原因になり、非常に危険です。

⚠ 注意

手袋を着用のうえ、刃物に刈刃カバーを付けて作業してください。

注 取付けには付属のロックピン、ボックススパナを使用します。

① 機体を右図のようにさかさにします。このときエンジン本体側の各部（特に点火プラグに注意する）が破損しないように注意してください。

② ギヤケースの穴に付属のロックピンの小径側をさし込みながら、付属のボックススパナで取付ナットを回すと、ロックピンが少し奥に入り回転が止まります。

そのまま、ボックススパナで、取付ナット、ナットカバー、刃押え金具をはずしてください。

注 **刃受け金具は必ず、付属の刃受け金具を使用してください。**

③ 刈刃の取付けは、刃受け金具に刈刃（刃の向きを確認して）、刃押え金具、ナットカバーの順序で組み付けます。

刃受け金具の凸部に、刈刃の丸穴がきちんと入った状態で取付けてください。

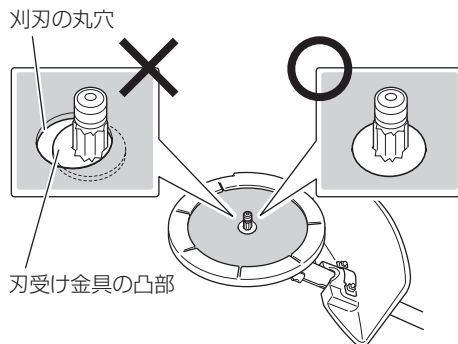
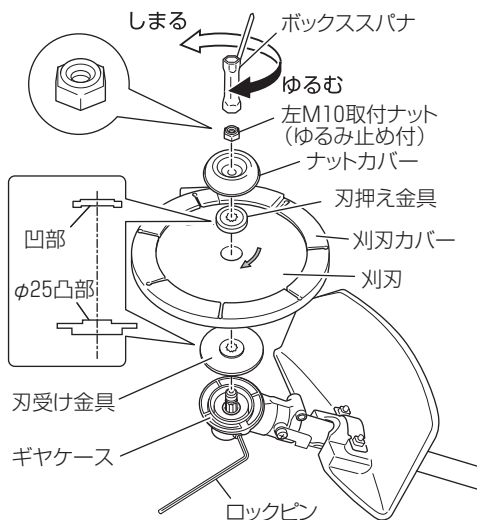
④ 取付ナットの丸みのある面をボックススパナ側にして取付けます。

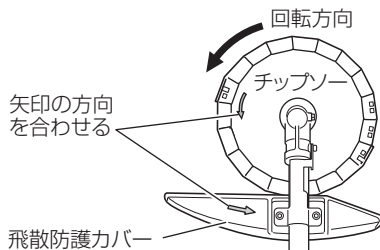
⑤ ロックピンの小径側をギヤケースの穴にさし込み、回り止めしてボックススパナで確実に締付けてください。
ナットで刈刃を締付けの際は、刈刃が完全に固定される前に重くなります。

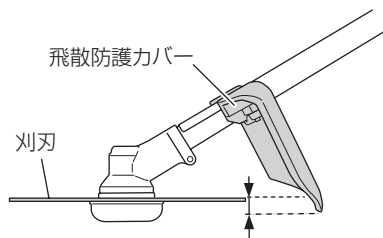
⑥ 取付けナットを締め付けているときに、刃受け金具の凸部と刈刃の丸穴がズレることがありますので注意してください。

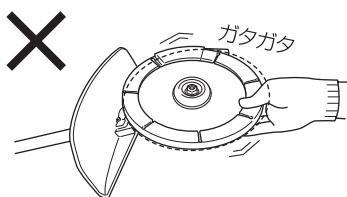
ご使用の前には必ず刃物が固定されているか確認してください。

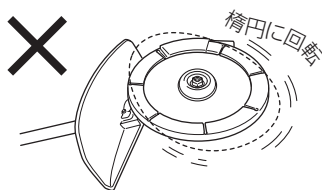
使い方

確認のポイント

刈刃と飛散防護カバーの矢印の方向が合っている

逆に取付けた場合は、逆の手順で刈刃を取りはずして、再度取付け直してください。

飛散防護カバーの下面より刈刃が出ていない

出ている場合は、再度飛散防護カバーを取付け直してください。
Ｐ 14「飛散防護カバーの取付け」参照)

取付け後、刈刃にガタつきがない

ガタつきがある場合は、左Ｍ 10 ナットの締付けが足りない可能性があります。
一度左Ｍ 10 ナットを取りはずして、再度しっかりと締付けてください。

軽く手で回したとき、刈刃が楕円に回転しない

楕円に回転するときは、刈刃の丸穴が刃受け金具の凸部に合っていない可能性があります。
一度左Ｍ 10 ナットを取りはずして、取付けを確認してから、しっかりと締付けてください。

●エンジンオイルの補給・点検

⚠警告

エンジンが十分に冷えた状態でエンジンオイルの点検・補給をしてください。
やけどの恐れがあります。

注
- **給油中、砂、ごみなどが入らないようにしてください。**
- **エンジンオイル量は、容量を守ってください。**

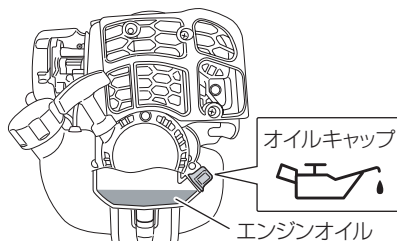
① きれいで平らな場所に本体を水平に置いてください。

② オイルキャップをはずします。

③ 注入口に口元までオイルがあるか点検します。
オイルが少ない場合は補給します。
汚れや変色が著しい場合はオイルを交換してください。
（交換時期・方法は、P 37「エンジンオイルの交換」参照）

④ オイルキャップを手で確実に締付けてください。

⚠注意

- **本製品には 4 サイクルオイルは付属していません。ご使用前には必ず 4 サイクルオイルを補充してください。**
- **使用前にエンジンオイルを確認し、エンジンオイルが減っているときは補充してください。**
 4 サイクルエンジンもエンジンオイルを消費します。
- **購入直後はエンジンオイルが減りやすいので、こまめにエンジンオイル量を確認してください。**

エンジンオイル	API分類 SH級以上の SAE 10 W– 30 オイル （自動車用 4 サイクルエンジンオイル）
容　量	80mL

●燃料の準備

⚠危険

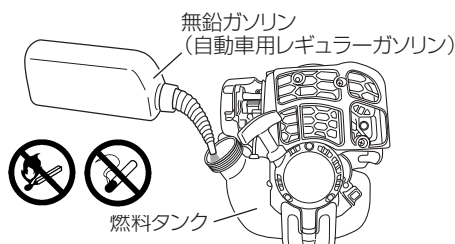
- **燃料の補給はエンジンを停止後、機体が冷えてから補給してください。**
- **燃料給油中はタバコを吸ったり、その他の火気を絶対に近づけないでください。**
  火災、やけどの原因になります。
- **給油中に燃料をこぼしたときは、良くふき取ってください。**

燃料は無鉛ガソリン（自動車用レギュラーガソリン）を使用してください。

タンクキャップを開けるときは、ゆっくりと行ってください。
急に開けると内圧でタンク内に残っていた燃料が吹き出す場合があります。
また、こぼれないように、燃料タンクの口元一杯まで入れないで8分目程度にしてください。

⚠警告

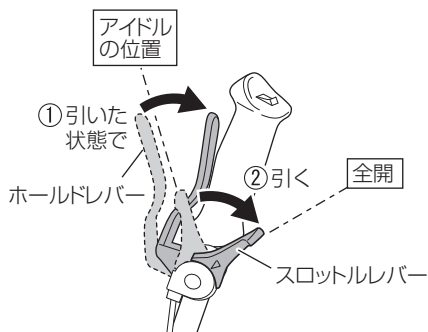
- **給油前に、刈払機本体、給油用の容器、作業者に帯電している静電気を除去するため、多少湿り気のある地面に接地してください。**
- **給油は風通しのよい場所で行ってください。**
- **エンジンを停止してもマフラーなどが熱くなっていますので、枯草などの燃えやすい所へ置かないようにしてください。**

注
- **燃料は、作業に必要な量を準備してください。**
  1ヶ月以上経過すると揮発したり、腐敗してエンジンが故障する原因になります。
- **燃料はガソリン専用の容器に入れて、火気のない場所で保管または運搬してください。**
- **燃料タンクキャップは、確実に取付けてください。**
  給油後に、キャップから燃料が漏れていないことを確認してください。

●スロットルレバーの操作方法

ホールドレバーを引いた状態でスロットルレバーを引くと、エンジン回転が速くなり、刈刃が回転します。

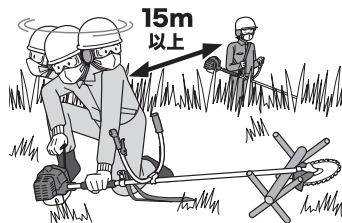
作業に適した回転にしてください。

その状態でスロットルレバーをはなすと、そのままの回転が維持されます。

ホールドレバーをはなすと、スロットルレバーはアイドルの位置へ戻ります。

エンジンの始動／停止

⚠警告

エンジンを始動する場合は次のことに注意してください。

- **機体を平らな場所においてください。**
- **15ｍ以内に人や動物を近づけないでください。**
- **スロットルがアイドルの位置にあることを確認してください。**
- **周囲に落葉、かれ草、おがくず、燃料などの可燃物のある場所で行わないでください。**
- **燃料を補給した場所から3ｍ以上はなれた場所で行ってください。**

不用意な始動は、けがや火災の原因になります。

- **エンジンが始動すると、刈刃が回転し始めることがあります。刈刃が地面や障害物に触れていないことを確認してください。**
- **室内・トンネル内・ビニールハウス内など、換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。**
  人体に有害な一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- **運転中および停止直後は、エンジン本体やマフラー周辺部に触れないでください。**
  やけどの恐れがあります。
- **運転中は点火プラグやプラグコードに手を触れないでください。**
  感電によるショックを受けることがあります。

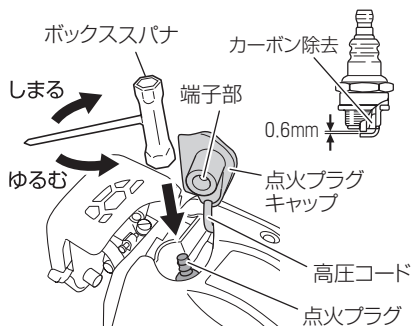
エンジン始動の予備知識

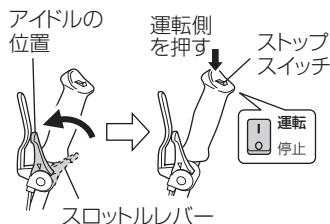
エンジンがかかりにくいときは…

チョークレバーを始動の位置のまま、スターターハンドルを何度も引き続けると、点火プラグの電極が燃料をかぶってエンジンが始動しなくなることがあります。

このような場合は、点火プラグを取りはずして、電極を乾かしてから、始動操作を行ってください。

（詳細はＰ 36「保守・点検・整備」の「点火プラグ」参照）

注 **エンジンが高温のときは、充分に冷めてから点火プラグをはずしてください。**

●始動方法

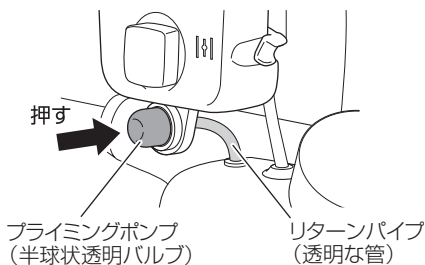
スロットルレバーがアイドルの位置にあることを確認して、ストップスイッチを運転位置にする

エンジンが冷えている場合

●初めて使うとき
●しばらく保管してから、再び使用するとき
●気温 10℃以下で、一時間以上放置したとき

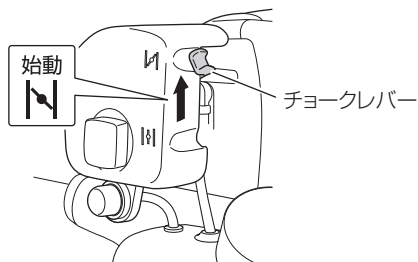
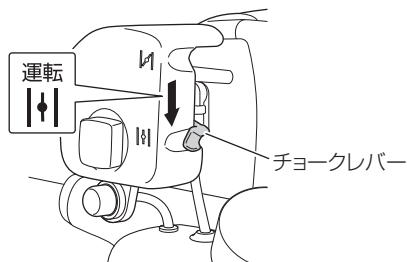
エンジンが暖まっている場合

●気温 20℃以上で、一時間ほどの小休止後

プライミングポンプを繰り返し押す

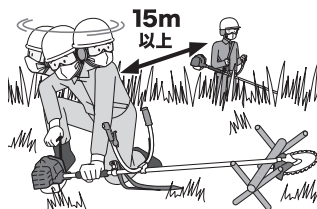
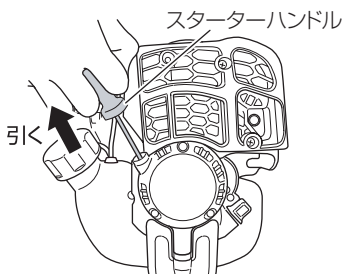
リターンパイプに燃料が流れ、プライミングポンプが燃料で満たされるまで繰り返し押してください。（目安 10 回）

エンジンが冷えている場合

エンジンが暖まっている場合

3 チョークレバーを始動位置にする

チョークレバーを運転位置にする

⚠ 警告

- エンジン始動と同時に刈刃が回転する場合がありますので注意してください。
- スターターハンドルを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合がありますので注意してください。

4 機体をしっかり押さえ、スターターハンドルを数回引く（10 回くらい）

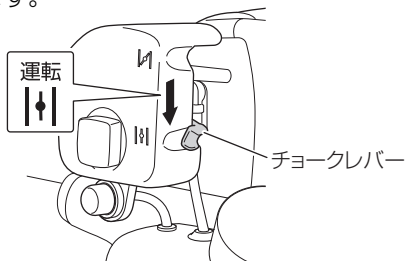
ロープは、最後まで引ききらないでください。

エンジン始動

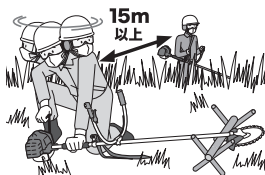
かからない場合は、❶ ～ ❻ の操作を行ってください。

エンジンが冷えている場合

5 エンジンがかかりはじめたら・・・

（ポン、ポンという爆発音がします。）

チョークレバーを
運転位置にします。

注　エンジンがかからないときは、ストップスイッチが停止側になっていないか確認してください。

6 エンジンが止まったら、再度スターターハンドルを引く

エンジン始動

使用前に、スロットルレバーをアイドルの位置にした状態で 2 ～ 3 分間暖機運転をしてください。

かからない場合は、 の操作を行ってください。

使い方

●停止方法

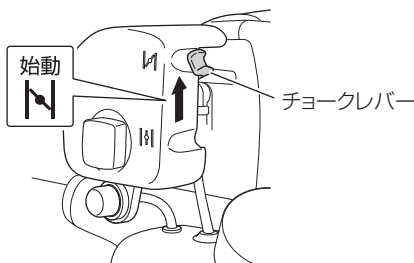
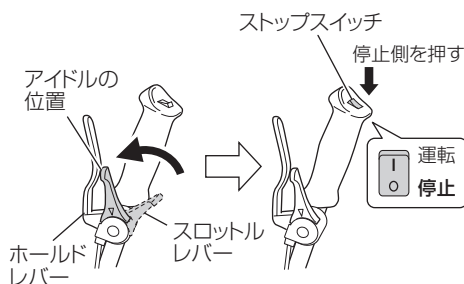
⚠警告

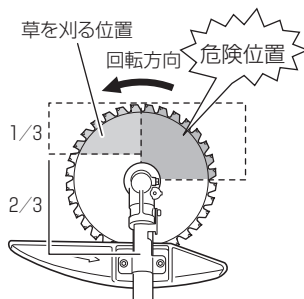
- **スロットルレバーをアイドルの位置にしたとき刈刃の回転が止まるのを確認してください。**
  刈刃の回転が止まらない場合は、アイドリングの回転数が低くなるように調整してください。
  （P 35「気化器」参照）
- **機体からはなれるときは、必ずストップスイッチを押してエンジンを停止してください。**

⚠注意

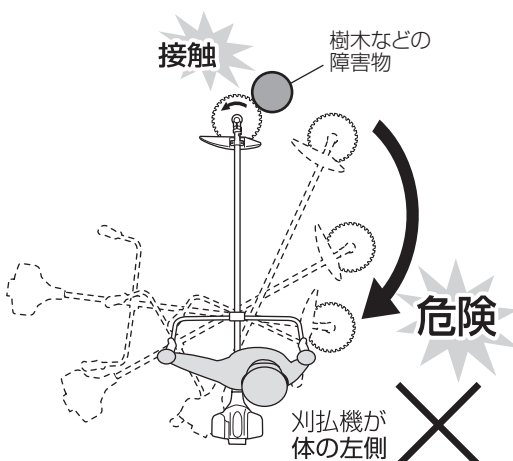
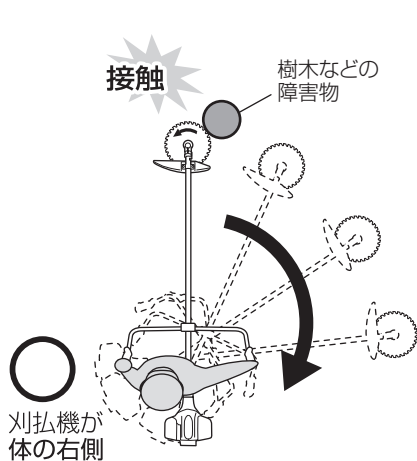
- **緊急時は、直ちにエンジンを停止操作してください。**
- **刈刃はエンジン停止後も慣性でしばらく回ります。完全に止まるまで、刈刃に触れないでください。**

エンジンを停止するときは、ホールドレバーをはなし、スロットルレバーがアイドルの位置に戻るのを確認してから、ストップスイッチを停止位置にします。

注 **ストップスイッチを停止側に押してもエンジンが停止しないときは、チョークレバーを「始動」の位置にしてください。エンジンは失速し、停止します。**
ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合は、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

キックバックについて

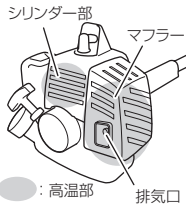
チップソーなど、金属製の刈刃を使用中に、刈刃の先端から右側部分が樹木などの障害物や硬い地面に接触すると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、作業者の右側に向かって跳ね返すキックバックが発生します。

雑草などで隠れている切り株や石などに刈刃が接触してキックバックを起こすことがあります。
雑草の中にそのような障害物がないかよく確認してから作業してください。

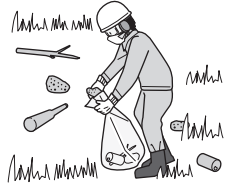
万一キックバックが発生しても、危険性を最小限にするため、刈払機を体の右側にして作業してください。
作業者を中心にして、刈刃部が回転するため、身体に直接接触する危険性が少なくなります。

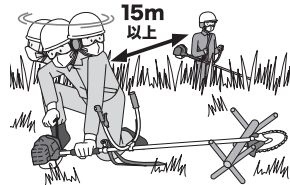
使い方

草を刈る

⚠警告

- 正しい姿勢で、足が滑るなど身体のバランスを失わないように十分注意して使用してください。
- 急傾斜地では使用しないでください。また、はしごに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
  転倒して、けがの原因になります。
- 肩掛けバンドに機体を下げ、両手でハンドルをしっかり持ち作業してください。
- 先端工具が足元に近づくような機体操作はしないでください。
- 作業中、先端工具をひざより高く持ち上げないでください。
- 刈刃が石、木の株、その他の障害物に当たる恐れのある場所では使わないでください。
- 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。また、二人以上で作業する場合も、 15 m 以上はなれてください。
- エンジンをかけたまま本機を放置しないでください。
- 運転中および作業直後は、落ち葉やかれ草、おがくず、燃料など、燃えやすい物の近くに置かないでください。
- 作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくエンジン本体、特にマフラー、排気口、シンダー部などに触れないでください。

  やけどやけがの原因になります。
- 排気ガスは人体に有害です。換気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。また、作業しないでください。
- 持ち運びの際は、必ずエンジンを停止し、先端工具が回転していないことを確認してください。

1 作業場所を整備する

- 刈刃が石や空き缶などの障害物に接触すると、思い掛けない方向に飛ばされることがあります。
- 取除く事のできない物は、あらかじめ目印を付けてください。

2 エンジンを始動する

- 周りに人がいないことを確認してから始動してください。
- 刈刃が地面や障害物に触れていないことを確認してください。
  （P 23 「エンジンの始動／停止」参照）

3 刈払機を保持する

- 肩掛けバンドを右手と頭に通して左肩にかけます。(P15「肩掛けバンドの取付けと使い方」参照)
- ハンドルに親指を掛け、他の指とともにハンドルを囲むように握ってください。

注
- **本機は、刈払機を体の右側で操作する構造となっております。刈払機を体の左側で使用しないでください。**
左側で操作すると、マフラーの高温部でやけどをすることがあります。
- **ご購入後、初めてお使いになるときは、エンジン各部のなじみを十分にするため、最初から10時間ぐらいまであまり回転を高くしないで作業し、ならし運転をしてください。**

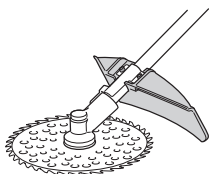
【両手ハンドルの握り方】

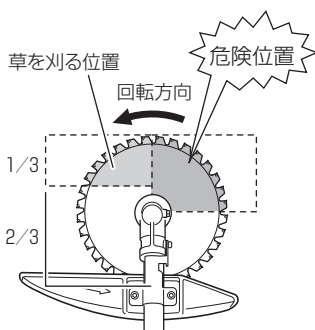
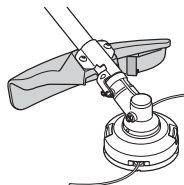
4 草を刈る

刈払いのコツをよくお読みください。

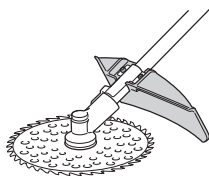
●刈払いのコツ

刈刃かナイロンコードカッタか により、ご使用方法のコツ・注意点に違いがあります。
それぞれのコツ・注意に従い、正しく安全にご使用ください。

刈刃をご使用の場合

⚠警告

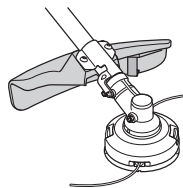
- 刈刃をご使用時には、刈刃の跳ね返り（キックバック）に注意してください。特に刈刃の右側を障害物に当てると、自分の方に刈刃が勢いよく跳ね返されますので注意してください。
- 石や壁など、硬いものに衝突させてしまった場合は、すぐにエンジンを停止して刈刃を点検し、損傷のある場合は、交換してください。

ナイロンコードカッタをご使用の場合

⚠警告

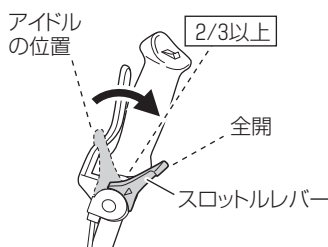
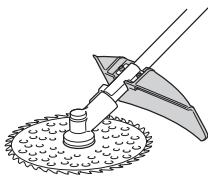
- ナイロンコードカッタは刈刃より抵抗が大きいため、取扱い操作を誤ると、エンジンに負荷がかかり過ぎて故障します。ナイロンコード長が必ず 15 ～ 17 cmになるようにご使用ください。
  また、作業時はスロットルレバーを 2 ／ 3 以上にあけ、エンジンの回転数を高速に保ってください。
- ナイロンコードの先端 2 cm程度の範囲で刈れる量で使用してください。
  エンジンが故障する原因になります。
- 飛散防護カバーとナイロンコードカッタの間に木の枝が入ってしまったときは、直ちにエンジンを停止した後、取除いてください。
- ナイロンコードカッタ専用飛散防護カバー（別売）を取付けて使用してください。

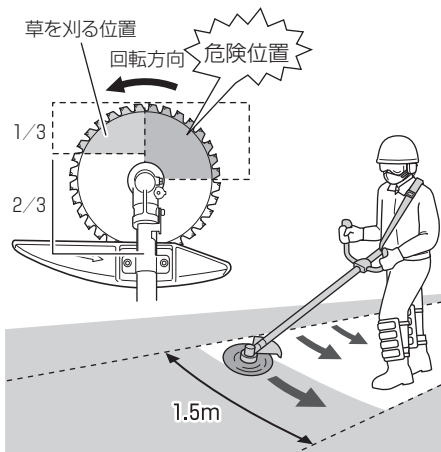
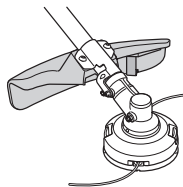
刈刃をご使用の場合（続き）

エンジンの回転は草の抵抗に合わせて

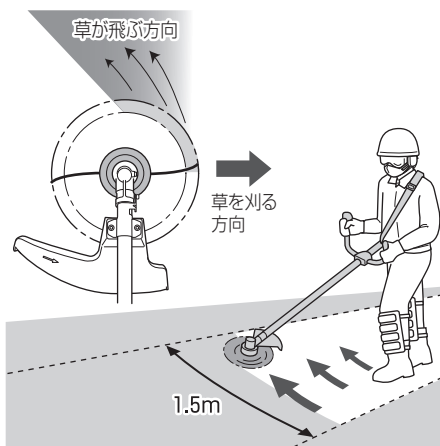
畦草など柔らかい草は、スロットル半開程度で十分ですが、密生したヨモギやつる草などは回転速度を上げて刈るようにしてください。

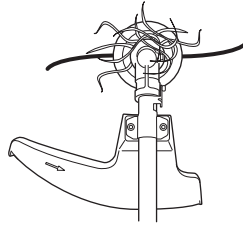
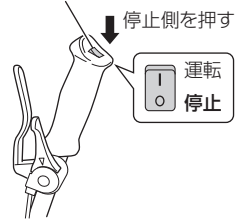
回転速度が低すぎると、力がなく草もからみやすくなります。
回転速度が高すぎると、刈刃摩耗が速くなる、振動や騒音が大きくなるなどの原因になります。また、回転速度をむやみに上げると、燃料の消費を早めます。

ナイロンコードカッタをご使用の場合（続き）

エンジンの回転は高速で

エンジン回転速度が低すぎると草が巻き付きやすくなるだけでなく、クラッチが滑りやすくなり、摩擦熱でクラッチが損傷する恐れがあります。
作業時は、スロットルレバーを 2 ／ 3 以上開けてください。

刈刃をご使用の場合（続き）

右から左に振るように作業

- メインパイプを振り回さず、腰の移動で刈刃を水平に右から左に弧を描くように振りながら前進し、
  刈刃の左側で刈込んでください。
  刈幅は１.５ｍくらいが適切です。
- 下図に示す刈刃直径の１／３の部分で刈ると、切れ味が良く、また草の巻き込みも少なく効率的に作業できます。
- 刈刃の左側を少し下げるように傾け作業すると、刈った草が左側にまとまり、刈った草の収集がしやすくなります。

ナイロンコードカッタをご使用の場合（続き）

左から右に振るように作業

- ナイロンコードカッタを左から右に振りながら刈ると、切りくずが身体から遠ざかる方向に飛びますので、服の汚れが少なくなります。
  刈幅は１.５ｍくらいが適切です。
- ナイロンコードカッタは、コードの先端部で草を刈ります。コード長さ分一度に刈ろうとすると、回転速度が落ち、切りにくくなります。
  一旦、草からナイロンコードカッタをはなし、スロットルレバーをさらに引いて、エンジンの回転速度を上げてから、刈込量を少なくして刈込してください。

草が巻き付いたら

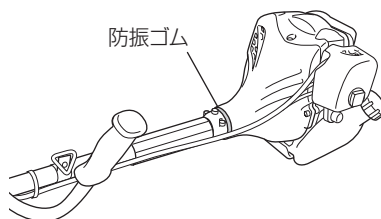
作業中に草などが巻き付いたときは、すぐにエンジンを停止し、取り除いてください。
草などが巻き付いた状態で無理に作業を続けると、クラッチの早期摩耗など故障の原因になります。

保守・点検・整備

⚠警告

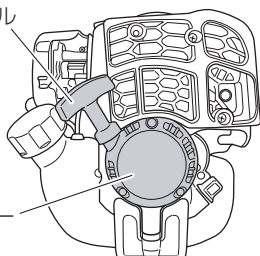
- 保守・点検・整備の際は、必ずエンジンを止めて機体が冷えた状態で行ってください。また、点火プラグキャップをはずしてください。
- 保守・点検・整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。
- 不具合箇所が発見されましたら、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

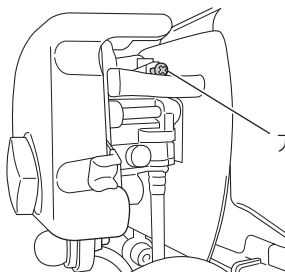
使用前の点検・整備について

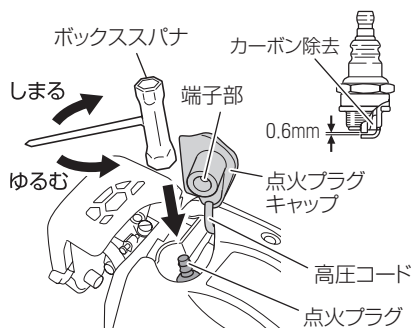
製造時の振動レベルを劣化させないため、作業を開始する前に必ず機体各部の点検・整備を行い異常がないことを確かめてください。

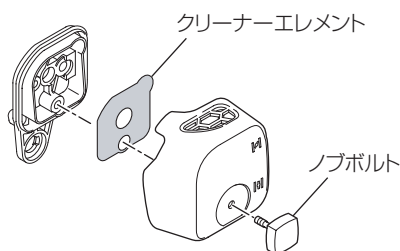
①防振ゴムのはがれ、劣化、破損、及び防振ゴム取付部のゆるみ、破損
②ハンドルの変形、破損、およびハンドル取付部のゆるみ、破損
③各部のボルト、ナットなどのゆるみ、破損

●リコイルスターター

⚠警告

危険ですので、リコイルスターターを分解しないでください。
スターターハンドルが軽く引けない場合や、スターターハンドルを引いてもエンジンが始動しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

●気化器

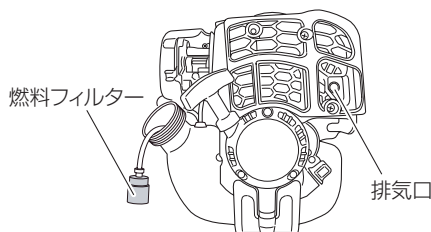
- 気化器の調整は、工場出荷時に済んでおりますので、なるべくさわらないでください。
- アイドリングの回転数が高すぎるとき（スロットルレバーがアイドルの位置で刈刃が回っているとき）または低すぎるとき（エンジンが停止するとき）は、アイドル調整ねじで調整してください。（右回しでアイドリングの回転数が高くなり、左回しで低くなります）

●点火プラグ

- 点火プラグは指定のものを使用してください。（P 10「仕様」参照）
- 最良の運転状態では点火プラグの電極が茶褐色に乾燥しています。
  電極のすき間は０.６㎜です。
- カーボンが付着している場合は、ワイヤブラシなどで掃除し、ガソリンで洗い、乾かしてから使用してください。
- プラグ取付け時は、まず指でねじこみ、最後に付属のボックススパナで締付け、しっかり取付けてください。

●エアクリーナー

- クリーナーエレメントが汚れ、目づまり状態になると出力低下や始動困難になります。クリーナーエレメントは時々掃除し、汚れを落として目づまりを防いでください。
- クリーナーエレメントを掃除するときは、ガソリンで軽く洗ってしぼり、乾燥させてから取付けてください。
  クリーナーエレメントは、ノブボルトを緩めクリーナーカバーをはずすと、取り出せます。

●燃料フィルター

- 燃料フィルターがつまるとガソリンが吸い込まれずエンジンの回転不調の原因となりますので、時々点検してください。
- 汚れているときは、針金などで燃料給油口から引き出してガソリンで良く洗ってください。（汚れのひどいときは交換してください）

●マフラー

長時間運転しますと、マフラーの排気口の内部にカーボンが付着し、出力低下の原因になります。時々、針金などで掃除してください。

●エンジンオイルの交換

> **⚠警告**
>
> **エンジンが十分に冷えてから、エンジンオイルを交換してください。**
> やけどの恐れがあります。

エンジンオイルが汚れていると、エンジンの寿命を著しく縮めます。定期的に点検、交換を行ってください。

① ストップスイッチを停止にします。

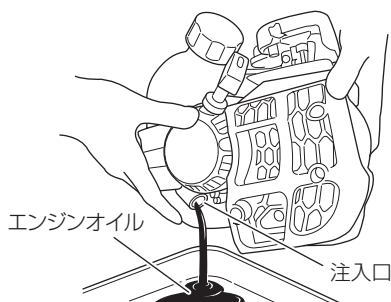
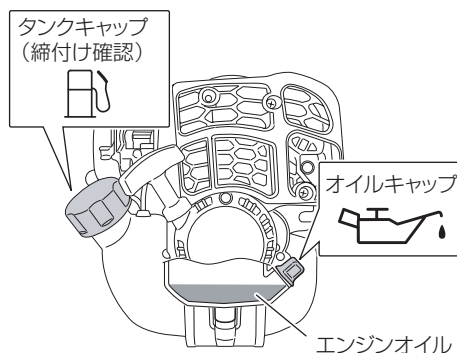
② タンクキャップが締付けられていることを確認します。

③ オイルキャップをはずし、注入口が下側になるよう本体を傾け、容器などにエンジンオイルを排出してくだい。

④ エンジンオイルを排出したら、きれいで平らな場所に本体を水平においてください。

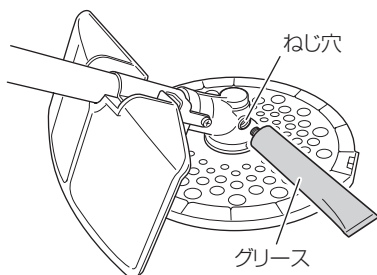
⑤ 注入口の口元までエンジンオイルを給油してください。

⑥ オイルキャップを手で確実に締付けてください。

注
- **給油中、砂、ごみなどが入らないようにしてください。**
- **エンジンオイル量は、容量を守ってください。**
- **交換後のエンジンオイルを、ごみの中や地面などに捨てないでください。地域で定められた方法に従って処理してください。**
  不明な場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- **エンジンオイルは、使用していなくても自然に劣化します。定期的に交換してください。**

交換時期	初回約 10 時間運転時、または1ヶ月目 以降は 50 時間運転ごと、または 6 ヶ月ごと
エンジンオイル	API分類 SH級以上の SAE 10 W− 30 オイル（自動車用 4 サイクルエンジンオイル）
エンジンオイル容量	80mL

●ギヤケース

- 50 時間使用毎にグリースを補充してください。
- ギヤケースヘッド部の側面にあるねじをはずし、そのねじ穴からグリースを注入してください。

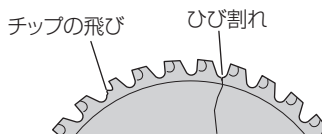
注
- **ねじをもとの位置に取付ける際は、ごみや土をよく取除いてください。**
- **ギヤケースの点検・整備は、ギヤケースが冷えてから行ってください。**

●フレキシブルシャフト

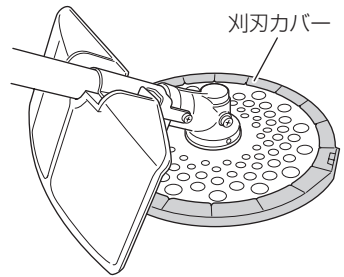
本機は、メインパイプにフレキシブルシャフトを内蔵しています。使用 50 時間ごとにフレキシブルシャフト表面へグリースを塗布してください。

注 **グリースの塗布は、お買い求めの販売店にご依頼ください。**

●刈刃

注
- **刈刃の着脱等の点検時は、手袋を着用してください。**
- **刃先が摩耗して丸くなった刈刃の使用は、切れ味が悪く、草が巻き付きやすくなったり、作業時に腕にかかる負担が増えます。また、機械の燃費や寿命にも悪影響を与えます。**
- **ナットカバー・刃押さえ金具は消耗品です。摩耗が激しいときは、必ずお取替えください。加減が分からない場合は、販売店にお問い合わせください。**

- 刈刃を点検する前に、エンジンを必ず停止してください。
- 刈刃のチップの飛び、ひび割れ、欠け、曲がり、摩耗など異常がないか点検し、異常がある場合は新品と交換してください。
- 刈刃交換は、必ず刃物を取付け金具（ナットカバー、刃押さえ金具、左M10 取付けナット）表面についたごみを十分に取除いた後に行ってください。
  汚れがついたまま取付けると、ナットがゆるんだり、エンジンへの負荷が増え、エンジンが壊れる原因となり、非常に危険です。
  ご自身で正しく締付けられないときは、販売店までご相談ください。

保管方法

- 各部を十分に清掃し金属部にはさびないように 2 サイクル専用オイルを薄く塗ってください。
- 長期間（1ヶ月以上）保管するときは、燃料タンクから燃料を抜き取ってから自然に停止するまで空運転し、気化器の中の燃料を完全になくしてください。
- 点火プラグをはずし、プラグの穴から少量の 2 サイクル専用オイルをシリンダーに流し込み、スターターハンドルを数回引きオイルが行き渡るようにしてください。点火プラグをもと通りに取付けてください。
  作業時に、油滴等が飛び散ることがありますので、保護メガネ等で目を保護してから作業してください。
- スターターハンドルを引っ張って圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めてください。
- 損傷箇所がある場合は必ず修理してから保管してください。
- ホコリ、湿気のない乾燥した、また温度が 50 ℃以上にならない場所に保管してください。
- 子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
- 燃料は屋内の火気の心配のない、冷たい乾いたところに、ガソリン専用の容器にいれて保管してください。古くなった燃料は故障の原因となりますので使用しないでください。
- 刈払機を移動、保管する場合は安全のため、必ず付属の刈刃カバーを取付けてください。

故障診断

⚠警告

- 修理に使用する部品は必ず指定の純正部品を使ってください。
- 点検の際は、必ずエンジンを止めて機体が冷えた状態で行ってください。

注 「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

状況		原因	対策
エンジンがかからない	【燃料関係】	燃料タンクに燃料がない、または少ない	燃料を入れる
		燃料タンクに古い燃料が残っている(異臭)	新しい燃料に交換する
		燃料を吸い込みすぎて、点火プラグが濡れている	1．点火プラグをはずし、乾かす 2．スターターハンドルを５～６回引いて余った燃料を出す 3．点火プラグを装着する「点火プラグ」参照 4．チョークレバーを運転位置にし、スターターハンドルを引く
		燃料フィルタにごみが詰まっている	燃料フィルタを清掃する
		燃料パイプが折れ曲がっているまたは、はずれている	燃料が流れるようにする
		気化器の不調	販売店に相談する
	【電気系統】	ストップスイッチのリード線がショートしている	販売店に相談する
		点火プラグが汚損している	交換または掃除する
		点火プラグのギャップが広い	0.6 ㎜に修理する
		高圧コードと点火プラグの接続が悪い	接続を直す
		電気系の異常	販売店に相談する
	【その他】	マフラーの排気口にカーボンが詰まっている	販売店に修理を依頼する
エンジンはスタートするがすぐ停止する 停止しそうになる	【燃料関係】	燃料タンクに燃料がない、または少ない	燃料を入れる
		燃料タンクに古い燃料が残っている(異臭)	新しい燃料に交換する
		２サイクル専用オイルが混合されていない	販売店に相談する
		チョークレバーが始動位置になっている	チョークレバーを運転の位置にする
		燃料系統に空気が混入する	燃料パイプや継手の接続を直す
		気化器の不調	販売店に相談する

状況		原因	対策
エンジンは スタートするが すぐ停止する 停止しそうに なる	【電気系統】	点火ミス ●点火プラグの不良	新品と交換する
		●電気系の異常	販売店に相談する
	【その他】	エンジンのオーバーヒート ●点火プラグの番手違い	指定品に交換する「仕様」参照
		●シリンダーまわりのゴミづまり	掃除する
		エアクリーナーの汚れ	掃除する
		カーボンづまり（マフラー排気口）	掃除する
		圧縮不足（ピストン、ピストンリング、シリンダー）	販売店に相談する
		エンジンオイルが入っていない または多量に入っている	決められた容量のエンジンオイルを入れる
異常振動が出る		刈刃の取付け不良	「刈刃の取付け」参照
		ハンドル、ハンドル固定具、その他の締付け部のゆるみ	チェックして増し締めする
		刈刃の曲がり、または損傷	新品と交換する
		ギヤケースに雑草が巻き付いている	雑草を取除く
エンジンはかかっているが、刈刃が動かない 動きが悪い		ギヤケースに雑草が巻き付いている	雑草、ごみを取除く
刈刃の切れ味が悪い		刈刃が摩耗している さびている 刈刃が表裏が逆に取付けられている	●刃を目立てする ●摩耗、さびがひどいときは新しい刈刃と交換する ●「刈刃の取付け」参照
エンジンが停止しない		ストップスイッチの異常	●チョークレバーを始動の位置にして、エンジンを停止する ●直ちに使用を中止して、販売店に相談する
スロットルを戻すとエンストする		アイドリング回転数が低すぎる	販売店に相談する
スロットルを戻しても刈刃が回り続ける		●アイドリング回転数が高すぎる ●スロットルワイヤの遊びがない	販売店に相談する

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00

●フリーダイヤル
0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスして最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

右のQRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号（品川インターシティA棟）
営業本部　TEL（03）5783-0626（代）

電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

401
部品コード　E99246304 NA